



# ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和6年3月22日  
文責：校長 江上 知男



## 「最後の授業」卒業式を実施しました！



6年修了式



別れの言葉

卒業証書授与式

3月21日(木)に、本校卒業式を挙行し、83名の子どもたちが嘉島西小学校を巣立ちました。今年度はコロナ禍から抜けだし、地域の代表の方々に見守っていただいた卒業式が実施できました。「子どもたちの『心が見える』ような卒業式」にしたいと考え、学校として出来る限りの準備をさせていただきました。出席いただきました全ての皆さまに、心から感謝します。

私たち教職員は、卒業式を「最後の授業」と考えています。卒業式における6年生の様子は、全ての瞬間がまさに「学びと感謝の場」になっていたと感じます。「卒業証書を受け取る姿」「別れの言葉に心を込める姿」等々、今思い出しても涙が出てきそうな程、感情が揺さぶられます。また、在校生代表として出席した5年生の態度も素晴らしく、「お祝いの気持ち」を十分に伝えてくれました。私も、大好きな6年生に向けて、心を込めて「式辞」を述べさせていただきました。

## 令和5年度「実りの3学期」が終了しました！

3月22日(金)に、卒業した6年生を除く1～5年生で、3学期修了式を実施しました。今学期も、「インフルエンザ禍」に翻弄される学期となり、いくつかの学級は「学級閉鎖」を余儀なくされました。しかしながら、担任の努力により学習の進捗を確保し、予定していた教育活動も全て実施することができました。様々な理解と協力をいただいた、PTA役員をはじめ保護者の皆さま、地域の皆さまのおかげに心から感謝します。ところで、3学期始業にあたり、「大切にしたいこと」は、次の内容でした。

### 「気付き、考え、行動する」の中の、特に「行動する」ということ

3学期の中で、令和6年度の学校のリーダーである「運営委員」の選挙がありました。そして、4・5年生の中に運営委員になることを考えたり、立候補したりした人がたくさんいました。選ばれたかどうかではなく、「学校のために力を発揮したい」と行動したこと自体がすごい勇気だと思いました。他にも、子どもたちは毎日の生活の中で、様々な行動力を発揮していました。本日担任から配付しました通知表の「総合所見」をじっくりお読みいただき、3学期を振り返っていただければと思います。以下抜粋です。

- 友達の頑張りに気づき、その「良さ」を学級の人みんなに広げる姿に心を打たれました。
- 給食当番の仕事が終わった後、自然に食器のかごを配膳台に並べる姿に感心しました。
- 放課後の教室で、黒板を消したり、トイレのスリッパを並べたりするなど、人が見ていないところでも行動できることは、みんなのお手本です。
- 周りの様子を気にかけて、気づいたらすぐに動くことができる行動力があります。人の痛みを自分のことのように感じ、友達の気持ちに寄り添うことができ、心の支えになっています。
- 友達に対して、「注意」するのではなく「教える」姿が見られました。相手が傷つかないように「声かけの工夫」をしている姿に感心しました。

読んでいて、とても嬉しくなりました。本当に素敵な、嘉島西小学校の子どもたちです。